

経営比較分析表（平成28年度決算）

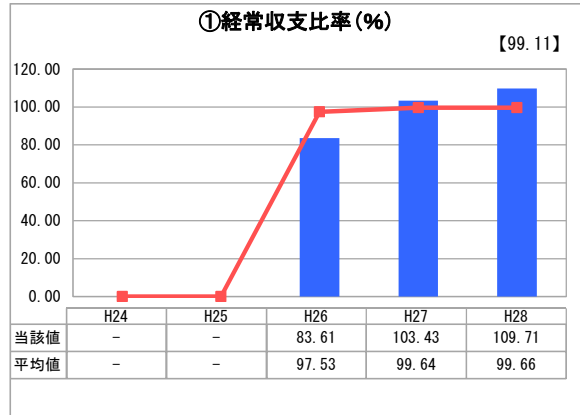
熊本県 玉名市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.87	10.88	100.00	3,547

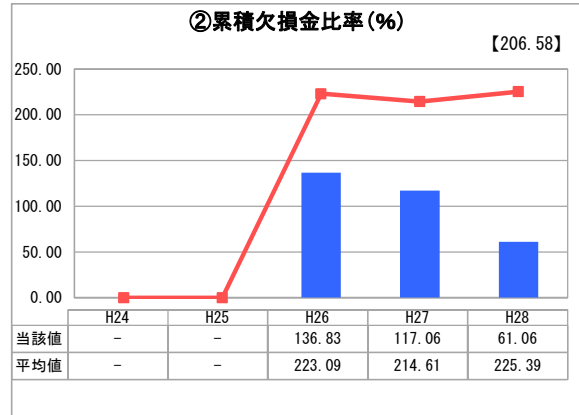
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
67,605	152.60	443.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,313	3.66	1,998.09

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	平成28年度全国平均	

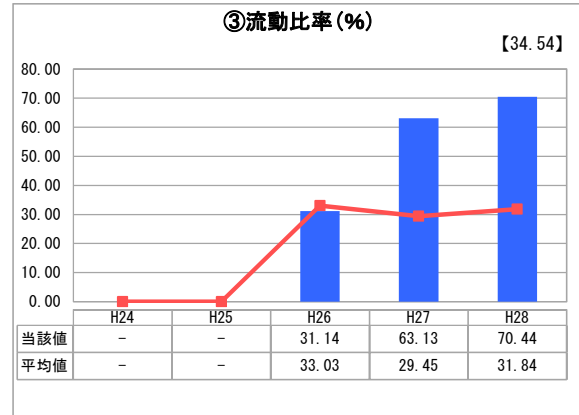
1. 経営の健全性・効率性



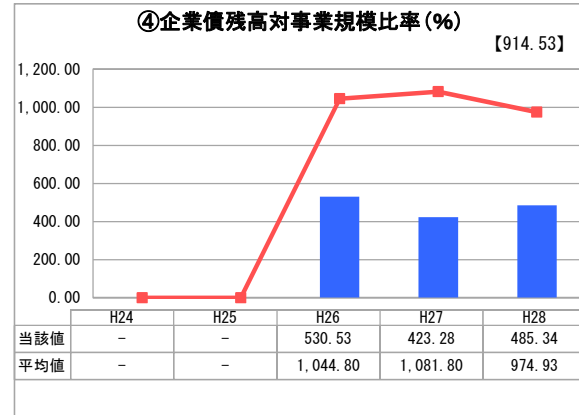
「経常損益」



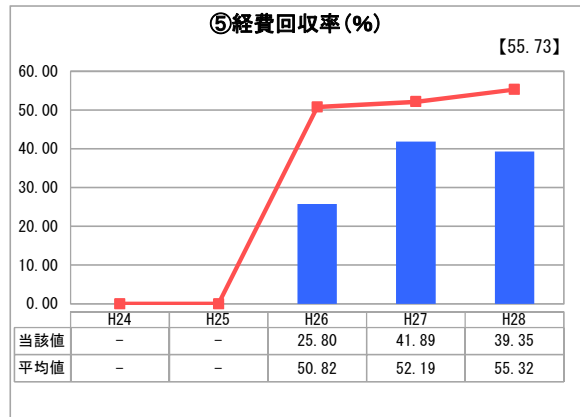
「累積欠損」



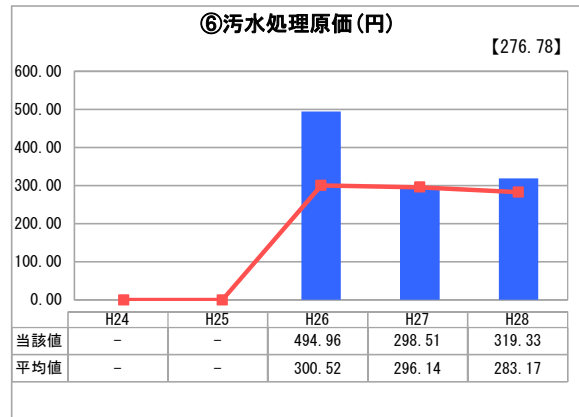
「支払能力」



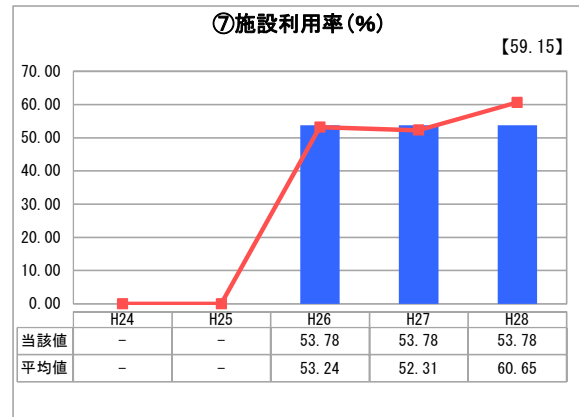
「債務残高」



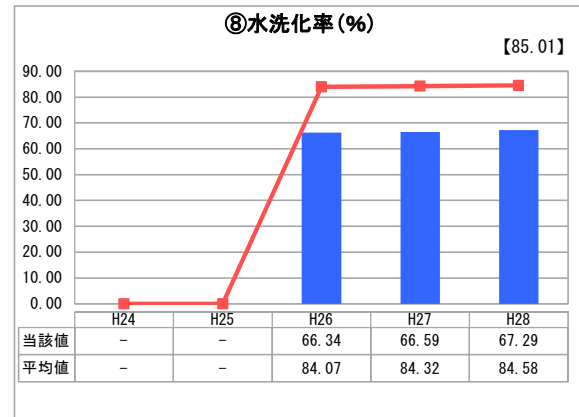
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

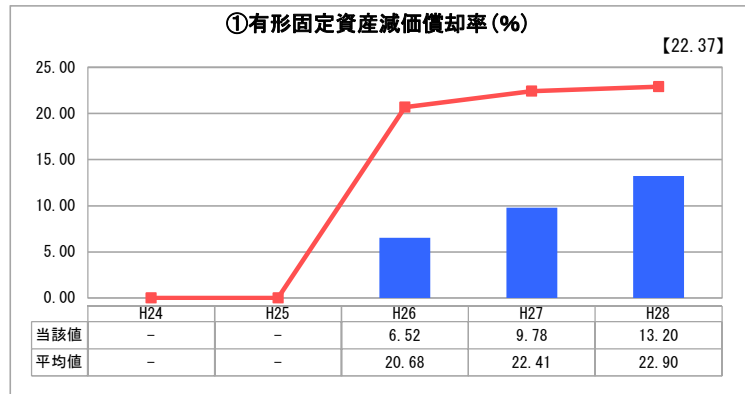


「施設の効率性」

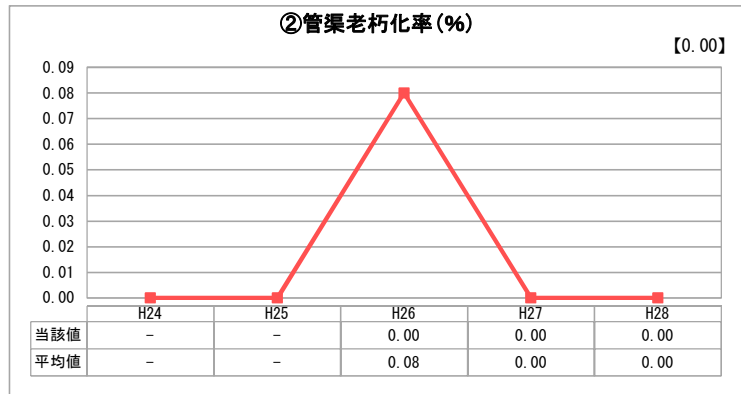


「使用料対象の捕捉」

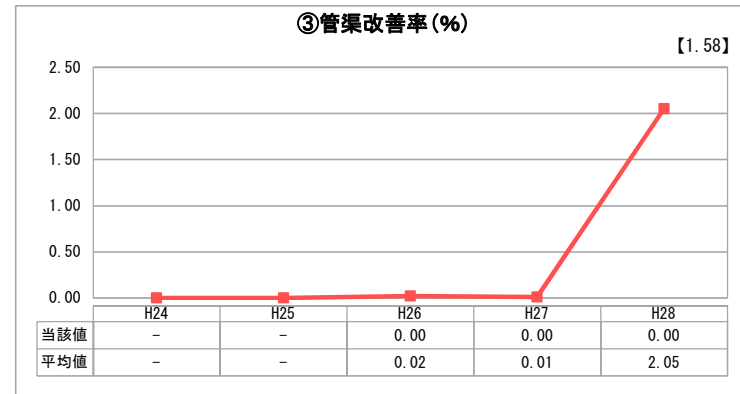
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は、平成26年度において100%を大きく下回ったが平成27年度、平成28年度と黒字となり累積欠損が減少しているが依然厳しい経営環境である。
- ・流動比率は、100%には届かず短期的支払返済能力が確保されているとは言えない状況である。
- ・企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体平均よりは低い水準であるものの、400%を越えているため、現在の事業規模や経営状況のままでは、債務弁済財源の確保が難しい状況にある。
- ・経費回収率は、平成28年度全国平均及び類似団体平均より低い状況であるため抜本的な施策が必要な状況にある。
- ・施設利用率は、平成28年度全国平均及び類似団体平均より低い状況となったため、処理場の非効率性の有無を継続的に確認していく必要がある。
- ・水洗化率は、全国平均及び類似団体平均を下回っており、下水道への接続勧奨を進め、適正な使用料収入と施設稼働を確保していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均を下回っているが、施設や設備を適切に維持管理しながら、下水道の機能を確保していく必要がある。
- ・管渠老朽化率、管渠改善率は、対象がない状況であるためゼロとなっており、本指標からは老朽化についての懸念材料は検出されていない状況である。

全体総括

- ・中長期的な視点から収入と支出のバランスを確保するため、経営戦略を平成28年度に策定した。今後、使用料収入の見直しの目途である3年ごとの見直し及びストックマネジメント計画の策定等投資計画の変更があれば随時見直しを行っていき、効率的な施設整備と適切な料金水準及び接続勧奨の推進の他、処理区の統合や浄化槽転換といった抜本的な施策も検討していき将来安定した経営を継続できるように取り組んでいきたいと考えている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。